



共創セミナーを開催しました



11月9日(木)に、理数科1年生を対象に、第3回「共創セミナー」を実施しました。株式会社 戸上電機製作所 技術本部 開発管理グループ マネージャー 山口直哉 先生に、「高圧開閉器について・構造と設計」と題して、発電所から家庭までに電気が届くしくみや高圧開閉器の役割、高圧開閉器の開発や設計についての事例紹介などを通して、企業活動における課題発見や課題解決の在り方等を話していただきました。

生徒の感想

- 「私は、停電が起こった後は制御されないと思っていましたが、停電が起こると高圧開閉器が働き、停電区間が最小限に抑えられるということを知り、驚きました。」
- 「製品開発は、まず世の中に役に立つものでないと意味がなく、さらに利益や性能、製作コスト、環境への配慮など、考えなければならないところが多く、とても大変なことだと思った。」
- 「将来、工学に関する仕事をするつもりでいるので、日頃からどのような機械があれば便利であるかを考えることも大切かなと思った。機械いじりが好きで今の進路を選んだが、それを仕事とするととなると、また違う苦労も多いのだろうと思った。」
- 「日々、世の中の課題を見つけて、それを少しでも解決できるように努力されていることが分かりました。一つの製品をつくるのにも、ただ多くの人とお金が必要なだけでなく、効率よく行っていることも学ぶことができました。私も、2年生で行う課題研究では、自分で課題を見つけて、何と何を比較するのかを考えてから、解決に近づけるようにしたいです。」

「課題研究における英語指導」を実施しました

11月15日(水)に、理数科2年生を対象に、佐賀大学 福井寿雄 先生、佐賀大学大学院の留学生の皆さんにお越しいただいて、「課題研究における英語指導」を行いました。10月25日(水)に第1回目を行い、今回が第2回目の実施です。

SSH事業の趣旨として「将来国際的に活躍し得る科学技術人材等の育成」が掲げられており、「課題研究における英語指導」では課題研究を通じた英語表現等の知識の獲得や英語によるプレゼンテーションやディスカッション等の経験により、英語コミュニケーション能力の育成を図ることを目的としています。

生徒達は、課題研究のテーマや実験の方法、実験結果、考察等を自分達で英文にし、実験の概要を留学生の方々に説明しました。留学生の方々からは、研究内容について英語表現がアドバイスされたり、実験の具体的な方法について質問がされたりしていました。英語によるディスカッションの経験を重ねて、英語コミュニケーション能力を高めていってほしいと思います。

次回は12月13日(水)に実施の予定です。

